

今週（10月28日から11月1日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調にみられ、レートは高水準で横這い圏での推移となった。

無担保コールO/N物の加重平均レートは、28日(月)から29日(火)は0.228%、30日(水)から31日(木)は0.227%となった。31日(木)は、金融政策決定会合及び月末日となったものの、大きな変化は見られなかった。11月1日(金)は、3連休前の週末となったが、引き続きレートは横這い圏での推移となった。

ターム物に関しては、ショートタームで0.28～0.30%程度、3M程度で0.33～0.35%程度で引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、548兆円台後半から始まり、31日(木)までは大きな変動はなく概ね横這い圏での推移となったが、1日(金)に2年債の発行超過や税揚げの前倒し要因などにより546兆円程度まで減少する見込みとなった。

また、30(水)から31日(木)にかけて開催された日銀金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、30日(水)までは0.12～0.235%、31日(木)以降は0.20～0.25%程度での推移となった。SCは、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6M、1Yゾーンが軟調に推移した。

11月1日(金)に実施された3M物入札は、引き続き強い水準での決着となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、小じっかりで推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末発行週にあたり、不動産・電気・ガス業、卸売業、その他金融、建設業など複数の業態が大型発行を実施した。

市場残高は、週を通して概ね24兆円台半ばで推移した。

発行レートについては、引き続き0.25%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

28日(月)にはCP等買入オベが事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.345%、平均レート0.370%と前回(按分0.270%、平均0.334%)比で、按分レート、平均レート共に上昇した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
10/28（月）	38,605.53	0.970	153.39	0.228	0.236	5,488,000
10/29（火）	38,903.68	0.970	152.92	0.228	0.183	5,487,500
10/30（水）	39,277.39	0.950	153.27	0.227	0.143	5,484,200
10/31（木）	39,081.25	0.935	153.50	0.227	0.234	5,483,600
11/1（金）	38,053.67	0.940	152.50	0.227	0.240	5,462,400

来週（11月5日から11月8日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/4 (月)	振替休日				9月の米製造業新規受注・出荷・在庫
11/5 (火)	10月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				9月の米貿易収支 10月のISM非製造業景況指数
11/6 (水)	11月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 金融政策決定会合議事要旨(9月19・20日分 8:50)	交付税借入 13,000億円 11/15借入			米FOMC(1日目)
11/7 (木)	9月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30)	TB6M 35,000億円 11/11発行	10Y 26,000億円 11/8発行		米FOMC(2日目) 英中銀MPC 9月の米卸売売上高 9月の米消費者信用残高
11/8 (金)	10月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 9月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 9月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 9月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TB3M 43,000億円 11/11発行	エネルギー借入 6,308億円 11/20借入		11月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/4 (月)	振替休日								
11/5 (火)	▲ 200	19,300	19,100	国債補完	7,700		7,700	26,800	消費税・法人税揚げ 年金・労働保険料揚げ 普通交付税払い TB3M発行△43,000償還52,000 交付税借入△13,000償還13,000
11/6 (水)	1,500	1,000	2,500				0	2,500	
11/7 (木)	600	1,000	1,600				0	1,600	
11/8 (金)	600	▲ 26,000	▲ 25,400				0	▲ 25,400	10Y発行△26,000
週 間 合 計	2,500	▲ 4,700	▲ 2,200	—	7,700	0	7,700	5,500	

11/5は日銀予想、11/6以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物のレート水準については、引き続き0.22%台後半での出会いを中心に、概ね横這い圏での推移が予想される。債券レボGC T/Nのレート水準は、0.15～0.25%程度のレンジで推移する事が予想される。短国市場は、7日(木)に6M物、8日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では6日(水)に金融政策決定会合議事要旨(9月19・20日分)、海外では、5日(火)に10月のISM非製造業景況指数、6日(水)から7日(木)に米FOMC、7日(木)に英中銀MPCなどが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入